

ファッション
としてのきもの
一三〇〇年

The KIMONO

Styled & Restyled

2019.

3.16
SAT
3.29
FRI

OPEN | 10:00~18:00 (会期中無休)

料金 | 一般 ¥800 学生 ¥500 中学生以下無料 ※着物着用の一般の方 ¥500

京都経済センター2階 京都産業会館ホール

主催：京都織物卸商業組合 京都商工会議所
共催：京都府 京都市 (公社)京都染織文化協会 (公社)京都工業会 京都信用保証協会 (一社)京都産業会館
後援：経済産業省 NHK京都放送局 (一社)京都経済同友会

京都の伝統産業
Traditional Industries of Kyoto

KOMSA 50

京都織物卸商業組合 50周年記念特別展覧会・京都経済センターこけら落とし事業

ファッションとしてのきもの1100年



“ファッション”という 画期的な視点から きもの歴史を総覧

日本独自の文化である「きもの」には、現代の装いにも通じる様々なアイデアやヒントが溢れています。本展は、芸術的な表現にとどまらない、「ファッション」としてのきもの魅力に焦点を当てた展覧会です。古代から近世まで、それぞれの時代に輝いた女性たちのきものが復元され、豊かな着る文化の歴史を物語ります。伝統的な色や柄、重ね着、帯や小物などをコーディネートし、スタイリングした展示は、これまでにない新鮮な驚きと発見に満ちています。そこから現在・未来の着こなしのヒントが見えてくるでしょう。

2019.

3.16
→ 29

SATURDAY

The KIMONO

Styled & Restyled

OPEN | 10:00~18:00 (会期中無休)



京都染織文化協会の所蔵する奈良時代～江戸後期の衣装は、昭和初期に当時最高の有職故実、染織の研究者と職人が結集して正確に復元された貴重な衣装です。これを服飾史家・深井晃子氏の監修のもと、時代ごとに、付随する小物とともにスタイリング展示します。当時の生き生きとしたきもの装いは、これまでにないきもの魅力を引き出します。明治～昭和期は、千總所蔵の婚嫁衣装と着用写真、他を展示。さらに、これからのきものとして新進気鋭のファッション・デザイナー中里唯馬氏がこの展覧会のために制作した新作を披露します。また映像や音に加えて、香りを楽しんでいただける展覧会です。

his exhibition explores the rich history of women's kimono that spans 1300 years by focusing on the respective styles of each historical era. Half a century ago, over 100 historical kimonos were replicated by textile experts of Kyoto under the supervision of academic researchers and historians. With these, the exhibition vividly demonstrates how kimonos were dressed in vogue during each era along with their coordinated accessories. Furthermore, we believe these are hints to the kimono of the future. Here we present a rare chance to experience the whole history of kimono.



撮影OK

Cameras allowed

本展覧会是一部を除き撮影可能です。

SNSの投稿などお楽しみください。



開催記念関連イベント

京都経済センターこけら落とし事業としての展覧会開催を記念し、本展覧会キュレーター深井晃子氏と各界を代表するゲストの方々による対談、宮廷衣装の着付け等のイベントを開催いたします。

定員：先着 50名・参加無料
(本展覧会の観覧券が必要です)

詳細・お申込みはホームページをご覧ください。

For more details,
please check
the website.



<http://www.thekimono.jp>

【対談】きもの談義：日本のきもの、西欧の KIMONO

きものは、長い歴史の延長線上に大きな可能性を秘めています。ポードレスに活躍する気鋭の二人が描くこれからのきものとは？

本展覧会キュレーター・
日本服飾研究家 長崎蔵氏 × 深井晃子氏 西洋服飾研究家

【日時】2019年3月19日(火) 17:00~18:00

【対談】未来の衣服ときもの

きものは、長い歴史の延長線上に大きな可能性を秘めています。ポードレスに活躍する二人が描くこれからのきものとは？

ファッション・
デザイナー 中里唯馬氏 × 細尾真孝氏 (株)細尾 常務取締役

【日時】2019年3月22日(金) 17:00~18:00

【衣紋と講演】装束司が話す宮廷装束の世界

日本の美意識を創り出した平安という時代の衣装の魅力を、着せ付けの実演とともに語ります。

黒田知子氏 装束司

【日時】2019年3月26日(火) 17:00~18:00



(上) 花扇丸流水文様打掛(桃山時代 復元)
刺繍と絞りで花扇を、摺箔で躍動的に流水を表現した豪華な打掛。お引きずりに着る打掛は、時に帯で結び、動き易くした。

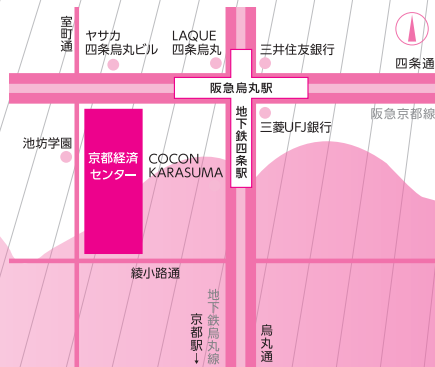
(下) 檜扇波頭文様小袖(江戸初期 復元)
寛文期特有の躍動感溢れる構図の小袖。中幅の帯で緩やかに締めた。 いずれも写真： 島山崇



展覧会キュレーター

深井晃子(ふかいあきこ)氏

服飾史家。西欧の服飾史から現代ファッションまでを論じることのできる服飾研究の第一人者。数々のファッション展を国内外でキュレーションし、高く評価される。京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター。著書に『きものとジャポニスム』平凡社 他多数、2008年文化庁長官表彰他。



事務局代表 TEL.075-353-1010

表面写真：雲取露草文様小袖(左) 肩裾紅葉水玉文様小袖(右) / (室町時代、復元) 中世特有の肩と裾に柄を置いたデザインの小袖。動きやすいように裾を引き上げ、細い帯を簡単に結んでいる。写真： 島山崇